

いっしょにツギハヤク

第37号

平成 27 年 1 月
発行：依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL：0268-68-0281
FAX：0268-68-0283

新年のごあいさつ



施設長
石橋 久夫

新年明けましておめでとうございます
平成 27 年の新年を迎えるにあたって、
老健いこいのご利用者や地域の皆様方
のご多幸を心より祈念いたします。



おたや祭山車
中町第 3 場『川中島の戦い』信玄・謙信一騎打ちの場

昨年末の解散総選挙では自公が圧勝し、
アベノミクスが支持された形となりました。
社会福祉目的税とした消費税増税も
その使途は極めて不明瞭で、今年 4 月の
介護報酬は大幅なマイナス改定となり、
人件費増と合わせ、施設運営は大変厳し
くなるのが予想されます。

そういった状況下でも、地域の高齢化
社会を支えるべく、和の精神のもと、人
に優しいケアを、職員全員が一丸となっ
て提供していきたいと思えます。

■今年のテーマ「全人的リハビリ」

当老健いこいは、高齢者の自立と尊厳
を支えるため、リハビリに力を入れてき
ました。今年は、理学療法士、作業療法
士合わせて 6 人体制となり、介護施設と
しては、県内でも屈指のリハビリ施設と
なります。

元々リハビリという言葉には、残存機
能を生かした、人間の回復という意味合
いが込められています。我々職員の願
いは、心身の弱ったお年寄りに、もう一度
生きる力と喜びを与えることです。その
ためには、職員にも従来通りのリハビリ
やケアからの意識改革が必要となります。

リハビリ職員も機能訓練を行いながら、
生活リハビリに比重を移し、生活機能を
改善することにより、自信をつけていた
だくことに主眼を置きます。老化を嘆く
のではなく、生きる意欲を回復し、その
安らぎの中で、お年寄りの表情に笑顔が
あふれ、生きていることの喜びを実感し
ていただきたいのです。

看・介護の分野でのポイントは、食事、
排泄、入浴といった三大介護を提供す
べいいという視点から、個別ケアをさら
に充実させていくことを考えています。
一人ひとりのお年寄りの個人情報をも
正確に理解し、それに見合った適切なサー
ビス計画とケアを心こめて提供すること
により、暖かさや優しさを感じていただ
きたいのです。

そして利用者のみなさんからも、職員
に対して「ありがとう」という感謝の言
葉が広がるような施設でありたいと思
います。

そんな人の優しい心があふれた雰囲気
を老健いこいの伝統文化として定着し
ければと、心から願っています。
本年も「老健いこい」へのご支援・ご
指導をよろしくお願いいたします。



未年（ひつじどし）

西暦年を 12 で割って 11
が余る年が未の年となる
このことです。

羊は「祥」に通じ中国の吉
祥動物の一つとされていま
す。

羊は群れをなすことから
「家族の安泰」を表すとさ
れ、いつまでも「平和」に暮
らすことを意味しているそ
うです。

介護職員によるダンベル体操



理学・作業療法士によるリハビリ

在宅ケアを支える

看護師 今井志織



看護師になって今年で12年目、いこいの看護師として働き5年目になります。

私自身が看護師として働きたいと志したのは、まだ介護保険導入前に、在宅ケアを支える様子を特集している報道番組を見たときからでした。病院での治療や介護が中心のなかで、住み慣れた地域・場所で家族と一緒に生活していくことの大変さや苦勞も分かりましたが、家族と一緒に生活していることや、些細な日常の様子が安心感や安堵感になっていくと伝える内容でありました。

微力ながら、私も「在宅ケアを支える仕事に関わりたい!」と決意し、縁あって依田窪病院に就職し、現在はその最前線にある「いこい」で働いています。

老人保健施設いこいは「在宅復帰」に主軸を置いて、地域の関係機関との連携を密にした地域包括ケアを実践しています。利用者の介護量の増加や、独居または老老介護による家庭環境のなかで「在宅復帰」に繋げていく困難さがあります。私も日々、ご利用者やご家族の思いや考えが納得できる状況や内容になったのだろうかと思ったり、もっと在宅復帰に向けて別の関わり方があったのではないのかと葛藤することばかりです。

しかし、自宅といこいを利用しながら、住み慣れた地域で生活を続けているご利用者と関わると、表情や様子から安心感や安堵感を実感することができます。

石橋施設長の目指す、尊厳が守られるケアを提供する重要な地域の基幹施設の中で、在宅ケアを支えるという私の決意の具現化のために、いこいの全職員と連携を図りながらがんばりたいと思います。



橋詰真由美

11月より通所リハビリでお世話になっています。慣れないことも多いですが、頑張ります。よろしくお願いいたします。

人事関係

●新規採用 (11月1日付) 看護師 橋詰真由美

●退職 (12月31日付) 介護員 出田由紀

竹之内冬子



依田窪南部中学校1年生交流会 (11月7日)

依田窪南部中学校1年1組の生徒さんが交流会で来所されました。文化祭で発表された合唱を披露してくださり、その後は各グループに分かれ、ご利用者とゲームや塗り絵、折り紙を楽しみました。



運動会 (11月2日)

入所者64名が参加され運動会が盛大に行われました。ベンチサッカーに大玉送り、パン食い競争とスポーツの秋を楽しみました。



通所忘年会 (12月5,6,8日)

地域のボランティア3組の演奏や日舞と、職員の余興で楽しい時間を過ごし、1年の労をねぎらいました。



入所忘年会 (12月7日)

57名のご利用者が参加され忘年会が行われました。ボランティアとしてシルバーフレンドの皆様が演奏や歌で盛り上げてくださいました。

ふれあい

(平成26年10月から平成26年12月までの出来事)

★編集後記★
新年明けましておめでとうございます。在宅復帰という目標に向かって、ご利用者に良いケアが提供でき、ご家族にも安心していただける施設をめざし、今年もがんばって参ります。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(編集委員)

